

平成28年度 工事専用軌道検討委員会を開催



立山砂防工事専用軌道（通称「トロッコ」）は、砂防工事の人員及び資機材の運搬を行っており、近年では、富山県が主催している「立山カルデラ砂防体験学習会」等、年間約千五百人の一般の方々が利用しています。このトロッコは、延長18km、標高差640mで最大勾配1/12の非常に急峻で落石の多い箇所を運行しており、安全対策について専門家の意見を伺うため、平成11年度から当委員会を開催しています。車両運行の現状、落石に対する安全管理の取り組み、万一事故が発生した際の対応、並びに斜面や施設の点検結果等を委員会で説明し、意見等をいただいています。

今年度は、平成29年1月31日に下記の通り開催し、各委員から点検方法や評価の考え方等について意見や質問が出され、今後のトロッコの安全管理に反映させていきたいと考えています。

○開催日時：平成29年1月31日（火）14時～16時

○開催場所：富山県民会館

○委員メンバー：9名（敬称略）

委員長 竹内 章：富山大学 名誉教授

委員 太田 岳洋：山口大学大学院創成科学研究科 准教授

寺田 潤：富山地方鉄道（株） 取締役 技術部長

山本 正純：建設業労働災害防止協会 富山県支部 専務理事

山本 賢治：弁護士

吉柳 岳志：富山県 土木部 参事（砂防課長）

本田 孝夫：（公財）立山カルデラ砂防博物館 館長

伊藤 和久：北陸地方整備局 河川部長

大坂 剛：北陸地方整備局 立山砂防事務所長

○参加者：23名（委員・職員事務局メンバー等）



委員長 竹内 章氏
（富山大学 名誉教授）



大坂委員挨拶
（立山砂防事務所長）



委員会開催状況

斜面やトンネルの点検状況



落石捕捉状況



地中レーザ探査状況

立山砂防事務所HPのコンテンツ「立山軌道トロッコ」に「立山砂防のトロッコ」に関する情報が掲載されています。是非、ご覧になって下さい！